

病院のソーシャルワーカー



今回は、認知症疾患医療センター 平川病院の
医療ソーシャルワーカー 椎名貴恵さんに伺いました。

Q1 ソーシャルワーカーさんとして、どんなお仕事をされていますか？

A 病気やけが等で治療が必要となり、それまでと同じ生活を続けることが難しくなってしまう方もおられます。治療を安心してうけ生活を続けられるように、**患者様ご本人やご家族への支援** をしています。

入院された方の場合は、入院初日に、健康保険の手続きや、入院費の説明、退院にむけての相談のすすめ方などをご説明します。ご本人、ご家族の心配事等があれば、具体的に伺い対応します。入院時に、退院を視野に入れた面談をすることで、退院後の生活に必要な制度の紹介や退院後の支援者を提案したり紹介したりします。

Q2 認知症疾患医療センターとしての特色は？

A 平川病院は精神科病院です。精神科の病気の症状と生活は密接に関係しているので、病気の治療だけでなく生活の支援もセットで考えます。そして病気であるご本人だけでなく、ご家族の方も一緒に支援してきました。長年の、このような支援のあり方が、認知症の方と、ご家族の支援に生かせるのではないかと…。精神科病院である平川病院が担う、認知症疾患医療センターの特色は、ここにあると思います。

Q3 どこにやり甲斐を感じておられますか？

A 「人の変化」に接する機会をいただけることです。病気や介護が必要な高齢の方にとっては、必ずしも良いお話しばかりではありません（病気が悪化する、お亡くなりになるなど…）。それでも状況を受け入れ、変化する姿をみせていただけることもあり、学ばせていただいていることがたくさんあると思っています。

ソーシャルワーカーは
八王子市内の多くの
病院にも配置されてい
て患者や家族の相談
窓口になっています。
精神保健福祉士や社会
福祉士の国家資格
をもっています。



様々な制度はあっても
自分に当てはまるものがわからない
すこし手助けが必要・・・
そんな時にご相談ください

